

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッションビジネス業界において、産業の構造（繊維、アパレル、小売）と現状を理解し、その特徴と問題点、社会と消費者の変化、国際環境の変化など、ファッション業界の変遷と実態を学ぶ。	1・通年	90	3	○			○		○		
○			アパレル商品知識	アパレル商品に必要な知識を学ぶ。講義、実習を通し各アイテムの商品知識を深め商品の選択眼を養う。ファッションビジネス能力検定合格も目指す。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品構成	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツブラウス、の基礎知識を理解させる。基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。	1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・ショップや街などの調査を通してリサーチ力を身につけさせるとともに、「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴を理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、自分のキャリアに結びつけることを目指す。	1・通年	60	2	○		△	○			○	
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○			○	○

○			アパレル素材論	アパレル製品の主な素材である布地とそれを構成する繊維、糸、またそれらの整理、仕上げ、染色加工等に関する基礎知識について、「講義」「実習」を通して学習する。さらに、テキスタイル及びアパレル業界のつながりや現状とも関連付けられるようにする。	1・通年	60	2	○			○				○
○			ファッション史	ファッション史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後ファッション業界でその知識を活かせるようにする。	1・通年	60	2	○			○				○

(別紙様式4)

(2/5)

### 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションデザイン画	・人体の動きと衣服の関連を把握し、デザインの構造を明確に描く技術を習得する ・マーカーを使用したファッションデザイン画の表現力の習得	1・前期	30	1		○		○				○
○			コンピュータワーク	オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本操作を学びながら、目的・用途に応じた使い分けを可能にし、表現方法に広がりを持たせることを目標とする。 ・ドロー系ソフト／Illustrator ・ペイント系ソフト／Photoshop ・オフィスソフト／Excel・PowerPoint	1・通年	60	2		○		○				○
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	1・通年	60	2		○		○				○
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	1・通年	60	2		○		○			○	



		○	自由選択B ソーイングb	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化学繊維を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた製作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B ハンディ ワーク	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidアリー、ビーズエンブroidアリー、スパングルエンブroidアリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。実際の商品に取り入れた作品を調査し、製作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B 帽子a	アクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B ファッションイラストレーション	アクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B 染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1					○	○							
		○	自由選択B きもの着付け	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方ができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	1・後期	30	1					○	○							
(別紙様式4)																		(4/5)		
授業科目等の概要																				
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 2021年度																				
分類																		授業方法	場所	教員

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携	
		○	自由選択B 日本のサブカルチャー史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	1・後期	30	1			○	○		○			
		○	自由選択B 映画から見るファッション	授業概要：ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	1・後期	30	1	○			○			○		
○			自由研究A	映画のファッションからコーディネート进行分析し、オリジナルのスタイリングを提案しファッション業界としての意識の高揚をはかる。	1・前期	30	1			○	○				○	
	○		自由研究B	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・後期	60	2			○	○			○		
		○	企業研修	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。企業内の実習、見学、講義などを通して接客による消費者ニーズの把握、商品企画、仕入れ、売り場構成、商品構成、販売促進などの仕組みの把握、商品の取り扱い方、在庫管理の方法、社会人のマナー、接客におけるマナー、実務の体験、研修企業先の業態、基本方針などの概要把握を理解、体得する。	1・後期	90	3			○		○				○

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			キャリア開発	1自己分析—社会の中で自分を活かせる長所・特徴を探る 2キャリアプラン—産業構造を理解し、社会との接点の中から自分に合う職業を見つけ出す 3就職対策—就職活動に必要な知識・マナーを学び、能動的に行動できる力を身につける 以上を到達目標に社会人として必要なヒューマンスキルの向上を目指す。	1・通年	30	1		○	○	○			○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後役に立つ知識を習得する。ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・通年	60	2	○			○				○	
○			校外研修 I	専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、美術館見学や映画鑑賞などを通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・前期	30	1				○		○		○	

合計

15科目

1050単位時間( 35 単位)

## 卒業要件及び履修方法

## 授業期間等

単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること

1学年の学期区分

前期・後期

1学期の授業期間

15週

## (留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこ

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			スタイリストワークA	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。 スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術の習得を目指す。	2・前期	60	2	○		△	○			○		
○			スタイリストワークB		2・後期	60	2	○		△	○			○		
○			ディレクションワーク	スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的の実現のためには、何をすべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有する方法を学ぶ。	2・通年	30	1	○		△	○			○		
○			スタイリングフォト	スタイリストとして必要な写真撮影の基礎知識を学び、スタイリストワークと連動しテーマに沿った作品をスタイリング撮影し、自分の好きな世界観の追求、ヘアメイク含めトータルで服の見せ方スタイリングのポイントを学ぶ。	2・通年	30	1				○			○		
○			フォト概論	撮影現場でスタイリストとして必要な写真の知識を、ポートレート講義、ファッション写真史など通じて学び、役立てていく。また授業の後半に写真集を制作、発表し、プレゼンテーション力、発想力を養う。	2・通年	30	1				○			○		
○			リメイク演習	既成商品を新しい発想とデザインで、再構築させてオリジナル作品の制作を行う。制作を基にリメイクウェアのデザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。	2・前期	90	2				○				○	
○			アパレル造形演習	異素材を使ったアパレル制作・アクセサリ制作を行う。作品制作を通じ、アパレル造形の一般知識、技術、素材の特徴と扱い、着こなしについて理解させる。	2・後期	60	2				○				○	

○			アパレル商品論	スタイリストに必要なアパレル商品知識をアイテム毎に名称、ディテール、素材、縫製やフィッティングのチェックポイント及び取扱いなどを学び、レポートを制作することにより知識を理解・修得し、商品選択眼を養う。	2・通年	60	2	○			○		○	
○			染色・加工演習	スタイリストの実務において、染色加工に関連する依頼や要求に対応できる能力を養う。また実習を通して、市場に流通する染色加工品の知識を深めることを目標とする。	2・前期	30	1		○		○			○
○			アクセサリ論・演習	ファッションコーディネートに必要なファッショングッズの専門知識と技術を学ぶ。作品製作を通しアクセサリと衣服のコーディネート力・バランス感覚を身につける。	2・通年	30	1	○	△		○			○

(別紙様式4)

(2/6)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションスタイリング	ファッションスタイリングの基本的な知識と技術を習得する。時代への適応力客観的に捉えたファッションスタイリングの提案能力を養う。素材や柄、アクセサリ、シルエット、体型カバーなどに視点を置きファッションスタイリングのテクニックの講義を主体にし、スタイリング実習 プレゼンテーションを行う。	2・通年	60	2	○		△	○			○	
○			ディスプレイ	ディスプレイの基本のテクニックを学び、モデルショップのウィンドーを使い、グループで演習を通して理解する。フォーミング、ウェアリング、置く、吊る、ピンナップ、ピンワークのテクニック、それに伴う構成、道具、用具、ツールの使い方、演出を学ぶ。プランニングをし(ディスプレイデザイン画、テーマ/コンセプト、カラー、イメージカラー等)それを基にディスプレイを行うことができるようになる。	2・通年	30	1		○		○			○	



○		ヘア・メイク	スタイリストとして、さまざまなヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げる。 美意識・美的センスを養う。	2・通年	60	2		○	○	○	○
○		パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す。外見の色素による理論的なアプローチ方法を学び、似合う色を見分ける色感を身につけ、スタイリングスキルの応用力向上を図る。（*パーソナルカラー検定3級・2級の内容を含む。2級を全員受験とする。）	2・後期	30	1	△	○	○	○	○
○		メディア表現	スタイリングして撮影したビジュアルを各種ツールやメディアにあわせて、より良い表現にするための基本を学び、課題制作を通じて実践する。	2・通年	30	1		○	○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッション英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・通年	60	2		○	○	○	
	○	自由選択 (語学) オールコミュニケーション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとなるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・通年	60	2		○	○	○	
	○	自由選択 (語学) TOEIC	TOEICテストでの600～700点程度の取得。スコアに見合うだけの英語力を身につける。	2・通年	60	2		○	○	○	

(別紙様式4)

(3/6)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 2021年度

分類					授業方法	場所	教員
----	--	--	--	--	------	----	----

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
		○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○		○		
		○	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業について行けるよう一般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	2・通年	60	2		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	・ニット(カットソー)のトップスを制作 ・スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 ・マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 ・発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。 ・発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・前期	30	1			○	○			○	
		○	自由選択A ソーイングb	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1			○	○			○	





		○	自由選択A 日本のサブカルチャー史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	2・前期	30	1	○			○		○	
		○	自由選択A 映画から見るファッション	授業概要:ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○	
		○	自由選択A パソコンスキルa	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1			○		○		○
		○	自由選択A パソコンスキルb	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1			○		○		○
○			特別講義Ⅱ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・通年	60	2	○				○		○
○			校外研修Ⅱ	美術館見学、映画鑑賞等学外での活動を通してファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1				○		○	○

(別紙様式4)

(6/6)

## 授業科目等の概要

## (ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
		○	インターンシップ <sup>a</sup>	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。	2・後期	30	1			○	○			○		
		○	インターンシップ <sup>b</sup>		2・後期	60	2			○	○				○	
		○	インターンシップ <sup>c</sup>		2・後期	90	3			○	○				○	
		○	インターンシップ <sup>d</sup>		2・後期	120	4			○	○				○	
		○	コラボレーション	外部講師や企業とのコラボレーション活動に個人又はグループで参加し、企業やアーティストとの共同制作・実務体験をする中で知識や技術を身につける。	2・後期	30	1			○	○				○	
○			イベント実習 <sup>A</sup>	スタイリストになるための基本知識としてスタイリストという職種について調べる。 現在スタイリストとして活躍されている人やスタイリスト事務所、スタイリスト関連企業について情報収集し、分析したものをレポートとしてまとめ、プレゼンテーションを通して人に伝える能力を身につける。	2・前期	30	1			○	○				○	
○			卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。 ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	120	4			○	○				○	
○			スタイリスト研究・創作	目的に合わせた各自のディレクションから、スタイリング、撮影準備、撮影実習、メディア加工、ブック制作をし、プレゼンテーション、展示形式で発表をする。	2・後期	60	2			○	○				○	
合計				20科目	990単位時間( 33 単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分	前期・後期
	1 学期の授業期間	15週
<p>(留意事項)</p> <p>1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。</p> <p>2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。</p>		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科シヨップスタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			接客対応スキル(基礎)	1.シヨップスタイリストとしての立ち居振る舞いから対応までの知識と実践力を身につける。 2.お客様視点での判断と行動ができる 3.販売の楽しさを知る	2・前期	120	4	○			○			○	
○			接客対応スキル(応用)	4.会話を身につけさせる 5.プレゼンテーション能力の向上	2・後期	90	3	○			○			○	
○			オンライン接客対応スキル	対面接客・オンライン接客、双方の接客対応スキル習得を目指す。 対面接客・オンライン接客の価値や満足度をお客様視点で考え、実践に繋げていく。 SOC(首尾一貫感覚9の高い人材を育成する。	2・通年	30	1	○			○		○		
○			接客実務	三越伊勢丹の行っている販売サービスを講義と実践で学ぶことで、将来のシヨップスタイリストになるための意識づけとファッション業界で働くための即戦力となる人材を育成する。	2・前期	30	1	○			○			○	○
○			アパレル商品論	ファッションアドバイザーになるために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称などの知識をより深い理解と習得をする。また接客技能検定3級やフォーマルスペシャリスト検定準2級の対策をし、合格を目標とする。	2・通年	90	3	○			○		○		
○			セールスコーディネート	①セールストークに求められるコーディネート の基本的な知識と技術を理論と実践を通して学ぶ。 ②客観的な視点に立ったコーディネートが組める。 ③コーディネートを論理的に捉えることで感性の理論化を目指す。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			ビジュアルマーチャンダイジング	VMDの一連の流れを演習を通して理解し販売員としてのスキルアップを目指す。 VMD政策の資料制作とMPテクニック(ディスプレイ)	2・通年	60	2	○			○		○		



○		売場計数	ショップスタッフとして必要となるショップ計数についての基本的な知識の修得を目標とする。 店メンバーとコミュニケーションを取る上で必要となる計数用語を理解し、計算演習を通して日々の計数管理業務が最低限できるようになることを目指す。	2・後期	30	1	○	△	○	○								
○		ファッションマーケティング	目的を持って情報収集し整理分析する力、アイデアを出す力を身につける 1)客観的にモノを見る目ことの重要性を理解する 2)最も興味のあるショップを様々な角度から見ることにより、お店におけるマーケティングを理解する 3)マーケティングの4Pの中のプロモーションの一部としての人的販売として接客スキルを考える	2・前期	30	1		○	○	○								

(別紙様式4)

(2/6)

### 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
○			アパレル商品演習	1.カジュアルウェア(リメイク含む)の製作を通して、カジュアルウェアの概念、デザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。 2. バザー: 市場の流行の動向をリサーチし、ファッション小物の企画、製作をしたものをバザーで販売し、モノの価値と価格のバランスを理解する。	2・通年	90	3		○		○		○					
○			アパレル品質論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。講義と演習により理解を深める。	2・後期	30	1		○		○		○					
○			パーソナルメイク	ショップスタイリストとして、さまざまなメイクアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げる。 美意識・美的センスを養う。	2・前期	30	1		○		○		○					



		○	自由選択A ニット	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1			○	○	○						
		○	自由選択A ソーイングa	・ニット(カットソー)のトップスを制作 ・スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 ・マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 ・発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・前期	30	1				○	○	○					
		○	自由選択A ソーイングb	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1				○	○	○					
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1				○	○	○					
		○	自由選択A ソーイングd	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1				○	○	○					
		○	自由選択A アートフラワー	コーディネート・撮影に使えるアクセサリーの制作【紅茶染め・アメリカンフラワー・樹脂】	2・前期	30	1				○	○	○					
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidアリー、ビーズエンブroidアリー、スパンゲルエンブroidアリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1				○	○	○					

(別紙様式4)

(4/6)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	自由選択A きもの着付け	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方、着付けができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 帽子a	アクセサリーの基礎として布帛による基本的な帽子を製作し知識と技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 帽子b	・ファッションコーディネートに活用される帽子の応用編 ・ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ファッションイラストレーション	・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。 ・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		

			自由選択A 日本のサブカルチャー史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	2・前期	30	1	○		○	○							
--	--	--	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----	---	---	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--

(別紙様式4)

(5/6)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	自由選択A 映画から見るファッション	授業概要:ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力や人を伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○			
		○	自由選択A パソコンスキルa	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1			○		○		○		

		○	自由選択A パソコンスキルb	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1		○	○	○						
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・通年	60	2	○		○	○						
○			校外研修Ⅱ	研修を通して、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	インターンシップa	現場に身を置き、実務を経験することで、就職前に実社会を体感し、卒業後の「働く」という意識をより高める効果を狙う。	2・後期	30	1			○	○	○					
		○	インターンシップb		2・後期	60	2			○	○	○					
○			イベント実習A	ファッションモデル、タレントについての現状を調査、またはファッションモデル事務所、タレント・芸能事務所の調査を行い、今後の自分の進路や目標設定に役立てる。	2・前期	30	1			○	○	○					

(別紙様式4)

(5/6)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	120	4			○	○	○			

○		接客応対研究・創作	1年間の学びの集大成として、卒業後 ショップスタイリストとして働く際のひ とつのルールブックとして活用できるレ ポートを作成する。	2 ・ 後 期	60	2				○	○		○		
合計					18科目				1020単位時間(			34	単位)		
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること							1学年の学期区分			前期・後期					
							1学期の授業期間			15週					
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			リテールマーチャンダイジングA	文化祭での店舗出店に向けての実務を通して、リテールマーチャンダイジングに必要な知識を得ることを目標とする。具体的にターゲット設定、店舗コンセプト、商品構成、店舗面積、店舗イメージ、販売サービス、販促、計数管理などの実践を行い、社会に出てから必要となる実務のシミュレーションを行う。	2・前期	90	3	○			○			○	
○			リテールマーチャンダイジングB	文化祭での店舗出店に向けての実務を通して、リテールマーチャンダイジングに必要な知識を得ることを目標とする。具体的にターゲット設定、店舗コンセプト、商品構成、店舗面積、店舗イメージ、販売サービス、販促、計数管理などの実践を行い、社会に出てから必要となる実務のシミュレーションを行う。	2・後期	120	4	○			○			○	
○			リテールマーチャンダイジング計数	アパレル小売業の多くが現在使用している計数に関する基礎知識の修得を目標とする。計数用語の解説と計算式の理解及び演習、実際に店舗で使用している計画書や報告書などの書類の紹介と実習、本コースが行う文化祭リアル店舗出店における計数管理の3つを軸に授業展開を行う。	2・通年	90	3	○			○		○		
○			ビジュアルマーチャンダイジング	五感に訴える売り場づくりの戦略であるVMDの基礎知識とテクニックを習得し、実店舗におけるVMD計画を企画し実社会でも活用できるようにする。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			販売実務	販売員として必要なマナー・サービスマインド・基礎知識を習得 店運営に必要なチームづくりや接客スキルを学びます。	2・通年	60	2	○	△		○			○	○
○			コーディネートテクニック	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネート提案能力を養う。 撮影実習を通し、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	2・後期	30	1	△	○		○		○		
○			セールスプロモーション	セールスにおいて重要な「ブランディング論」と「世の中の時流」を交えながら、実際の業界での動き方や考え方などの知識を得る事を目標とする。実際に「今」業界で起きている事も教え、即戦力となれる様、促す。	2・通年	30	1	○			○		○		



○		アパレル商品論	ファッションアドバイザーやバイヤー、企業を目指すために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く、リメイクや部分縫いなど講義だけでなく実技演習からお直しなどに必要な知識を習得する。	2・通年	60	2		○	○	○				
○		インターネットビジネス	インターネットをビジネス(特にEC周辺)に活用するうえで、知っておくべき基礎知識の学習と、一個人でもECの立ち上げから企画、運用が実践できるような予備知識を学び、即戦力となりうる力を養っていく。	2・通年	60	2	○	△	○	○	○			

(別紙様式4)

(2/5)

### 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			商品企画演習	実践型カリキュラムとして取り組んでいる文化祭特設テントにおいて必要なオリジナル商品企画について学ぶ。 商品企画、生産、加工、品質管理など、さまざまな演習を通して実際の商品企画に役立てる。	2・前期	30	1	○		△	○			○	
○			ビジネス論	グループワークやケーススタディなどを通じて、リテールにおける最新の情報をキャッチアップしつつ、ビジネスとして俯瞰で捉えられる力を身につける。	2・前期	30	1	○			○		○		○
○			パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「似合う色」の習得を目指す。色による「自分ブランディング提案」や「ブランドプロデュース計画」の他、RE・TENTにもいかせる色彩計画について学ぶ。(＊パーソナルカラー検定3級・級を受験できる内容)	2・前期	30	1	△	○		○		○		○
○			メディアワーク	1年次に習ったアプリケーションソフトを復習しながら、RE・TENTのPRに活かす販促物のデザインを中心に、表計算ソフトなども交えながら課題を製作し、実務に活かすスキルを身につける。	2・通年	60	2	○	△		○			○	

		○	自由選択 (語学) ファッション 英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、 文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目 標とする。ファッションを専攻している学生を 対象としているため、ファッション関連の語 彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接 することにも重点を置いたプログラムとして いる。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・ 通年	60	2		○	○		○
		○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメ イトと英語でコミュニケーションをとる。会話中 心の授業となるため学生には積極的な発 言が求められる。授業は原則として英語で 行う。	2・ 通年	60	2		○	○		○
		○	自由選択 (語学) TOEIC	TOEICテストでの600~700点程度の取得。 スコアに見合うだけの英語力を身につける。	2・ 通年	60	2		○	○		○
		○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四 声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入 門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、 実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の 伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級 段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比 較・類似・比喩表現についてトレーニングし ます。中検4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長 さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類 似・比喩の表現についてトレーニングしま す。中検4級基準。	2・ 通年	60	2		○	○		○

(別紙様式4)

(3/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	自由選択 (語学) 日本語(留 学生)	留学生が本科の授業について行けるよう全 般的な日本語の学習、特に表現力をつける 学習を行う。更に専門用語リストやファッ ションニュースで専門語彙を増やすこと、自 分の作品を日本語で表現することを目標と する。相手に伝わる日本語を話すための発 音練習も行う。	2・ 通年	60	2		○	○		○			



		○	自由選択A ハンディ ワーク	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidアリー、ビーズエンブroidアリー、スパングルエンブroidアリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1		○	○	○						
		○	自由選択A きもの着付け	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。設定時間内に着方ができるよう技術を身に着ける。着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	自由選択A 帽子a	アクセサリーの基礎として布帛による基本的な帽子を製作し知識と技術を取得する。	2・前期	30	1		○	○	○						
		○	自由選択A 帽子b	・ファッションコーディネートに活用される帽子の応用編 ・ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1		○	○	○						
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○	○	○						
		○	自由選択A ファッションイラストレーション	・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。 ・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。	2・前期	30	1		○	○	○						
		○	自由選択A 染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	自由選択A 日本のサブカルチャー史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	2・前期	30	1	○		○	○						

(別紙様式4)

(5/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 2021年度

分類						授業方法	場所	教員
----	--	--	--	--	--	------	----	----

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
		○	自由選択A 映画から見るファッション	授業概要:ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力の人々に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○		
		○	自由選択A パソコンスキルa	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A パソコンスキルb	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	・リテールマーチャンダイジングに必要な専門知識の理解を深める。 ・リテールプランニングに関連する業界・業種の視野を広げ、自身の企画に活かす。	2・通年	60	2	○			○				○
○			校外研修Ⅱ	学外での施設見学等を通して、施設におけるサービスやプロモーション等、あらゆる観点から理解することを目標とする。	2・前期	30	1				○		○		○
		○	インターンシップa	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追求と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。	2・通年	30	1				○		○		○

		○	インターンシップ <sup>b</sup>	在学中より将来就きたい職種の現場に身を置き、経験を積む。その経験をもとに、自ら学びを深め就職へと繋げる。	2・通年	60	2			○	○	○	
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○	○	

(別紙様式4)

(5/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	30	1			○	○			○	
○			ビジネス研究・創作	実践型カリキュラムとして取り組んでいる「RE・TENT」での体験を活用して、「いま求められている新しいプランニング」という視点で個人企画を行う。またプレゼンテーションを実施する。	2・後期	60	2			○	○			○	
合計			18科目		1050単位時間( 35 単位)										

## 卒業要件及び履修方法

## 授業期間等

単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること

1 学年の学期区分

前期・後期

1 学期の授業期間

15週

## (留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションプロモーションコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションプロモーションA	ファッションプロモーションに必要な要素を知り、その学びを深めるために各自のテーマに基づいたオウンドメディアの制作を実践する。	2・前期	120	4		○		○				
○			ファッションプロモーションB	その実践を通して、世界中のプロモーションツールに興味を持ち、その特徴を的確に捉えられるようになることを目標とする。	2・後期	90	3		○		○				
○			ファッションマーケティング論	アパレル業界でマーケターとして就業できるマーケティングの基礎知識の習得。就業時にアシスタントとして活躍できるレベルを目指す。	2・前期	30	1	○			○				
○			デジタルマーケティング	アパレル業界でマーケターとして就業できるwebマーケティングの基礎知識の習得。就業時にアシスタントとして活躍できるレベルを目指す。	2・後期	30	1	○	△		○				
○			メディア活用論	広告PR領域におけるメディア、クリエイティブ、プロモーション、マーケティングに関する最低限必要な基礎知識を身に付ける。さらに、プランニングをする際に求められるアイデア発想の仕方など、周辺領域の実践的なスキル習得を目指す。最終課題としてチームでの企画プレゼンテーションに挑み、プレス、広報、販売促進業務において実務として求められる「コンテンツ企画」と「メディア設計」のベースを考えられるレベルとなることを目標とする。	2・通年	60	2	○	△		○				

○			プロモーション演習	外部企業とのコラボレーションを通し、クライアントの要望(目的・ターゲット・シーズンなど)に合ったプロモーション手法を習得する。 コンペティション形式でプレゼンテーションをし、自身の企画・アイデアをクライアントや消費者に伝えるスキルを向上させる。 企業からフィードバック(講評)をもらい、今後のプロモーション活動へつなげる。	2・後期	30	1			○		○		○		
○			プロモーションフォト	おもにスマートフォンを使用した撮影・編集技術の向上。様々な職種(プレス・EC関連など)に対応できる幅広い撮影知識と、自分の世界観を文章だけではなく写真で表現することを目標とします。実習を多く取り込み、座って見てノートに書くだけの授業ではなく自分で体感しアウトプットする授業です。	2・通年	60	2			○		○		○		
○			ムービーワーク	Premiereを使用して、編集の基本を学ぶ。画コンテについても学び、編集の視点から企画、撮影を行う。また、Illustrator、Photoshopとも連携してタイトルワークを学ぶ。最終的にはメディアに納品できる形式の書き出しまで学び、Youtubeへの限定公開を行い、一人でムービーのフィニッシュを行えることを目的とする。	2・通年	60	2			○		○			○	

(別紙様式4)

(2/5)

### 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションプロモーションコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			グラフィックデザイン	1年次に学習したデザインソフトの復習、応用スキルの向上。実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や資料の作成スキルを身につける。	2・通年	60	2			○		○		○	



○			エディトリアルワーク	現在のファッションビジネスにおけるあらゆるコミュニケーション設計において、最も必要とされるスキル「編集力」を実践的に身につける。表現に必要な、エディトリアル(ライティング含む)・ビジュアルディレクション・アートディレクション・ウェブディレクションの4つのスキルを中心にエディトリアルワークを総合的に学ぶ。	2・通年	60	2		○	○	○								
○			ファッション商品知識	アパレル企業での業務に必要な商品知識を身に付けることを目標とする。1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く講義を中心に必要な知識を習得する。	2・通年	30	1	○		○	○								
○			ファッション情報	ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し「人に伝える」力を身につける。市場牽引ブランド、注目ショップの最新プロモーションやインフルエンサー、人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける。	2・通年	30	1		○	○									○
○			カラープランニング	様々なメディアにおけるコミュニケーションの中での色彩の役割を理解し、「つ和える」ためのツールとして客観的な色彩の活用を目指す。	2・前期	30	1		○	○									○
○			プロダクトデザイン	多岐にわたるデザインの事例、制作過程の紹介を中心に講義を行い、デザインの知識を深めることを目的とする。演習では、アイデアとコンセプトの構築と展開、グループディスカッションによるプレゼンテーションも行い、コミュニケーション力の上達を目標とする。	2・通年	60	2	△	○		○								○
○			現代ファッション	グローバル化とデジタル化によって急速に変化、拡張する現代のファッションを多面的に捉えていく。事例と共に学びながら、先駆的な視野を養うことを目的とする。	2・後期	30	1		○		○								○
		○	自由選択 (語学) ファッション英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・通年	60	2		○		○								○

		○	自由選択（語学） オーラルコミュニケーション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・通年	60	2		○		○					○
--	--	---	---------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	------	----	---	--	---	--	---	--	--	--	--	---

(別紙様式4)

(3/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションプロモーションコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	自由選択（語学） TOEIC	TOEICテストでの600～700点程度の取得。スコアに見合うだけの英語力を身につける。	2・通年	60	2		○					○		
		○	自由選択（語学） 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○					○		
		○	自由選択（語学） 日本語(留学生)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	2・通年	60	2		○					○		
		○	自由選択A ニット	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1		○					○		

		○	自由選択A ソーイングa	・ニット(カットソー)のトップスを制作 ・スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 ・マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 ・発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・前期	30	1				○	○		○
		○	自由選択A ソーイングb	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1				○	○		○

(別紙様式4)

(4/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションプロモーションコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1			○	○			○	
		○	自由選択A ソーイングd	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1			○	○			○	



		○	自由選択A ファッションイラストレーション <sup>a</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。</li> <li>・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。</li> <li>・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。</li> </ul>	2・前期	30	1		○		○							
		○	自由選択A 染色	<p>染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。</p> <p>さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。</p>	2・前期	30	1			○	○			○				
		○	自由選択A 日本のサブカルチャー史	<p>映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。</p>	2・前期	30	1	○			○			○				
		○	自由選択A 映画から見るファッション	<p>授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。</p> <p>到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。</p>	2・前期	30	1	○			○			○				
		○	自由選択A パソコンスキル <sup>a</sup>	<p>AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。</p> <p>また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。</p>	2・前期	30	1		○		○			○				

			自由選択A パソコンスキル b	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。 衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1			○	○	○		
--	--	--	-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----	---	--	--	---	---	---	--	--

(別紙様式4)

(5/5)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションプロモーションコース) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義Ⅱ	ファッションプロモーションに必要な専門知識の理解を深める。 デジタル、プロモーション、デザインに関連する視野を広げ、自身の成長につなげる。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			校外研修Ⅱ	研修旅行における企業見学(株式会社ゴールドウィンほか)を通し、アパレル産業の現場を理解する。 また各種施設の見学を通して、日本の文化国や国内デザインについての知見を深める。	2・後期	30	1			○	○	○			
○			イベント実習A	ファッション流通科1年を歓迎するための企画を考え、実践する。活動を通してチームワークの重要性を意識させ、企画を実現するプロセスを学ぶ。また実践したものが相手にどのように評価されたかを確認する。	2・前期	30	1			○	○	○			
		○	インターンシップa	現場でのインターンシップを通して、業界の現状を知ること、自身のスキルアップにつなげることを目標とする。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	インターンシップb		2・後期	60	2			○	○		○		
		○	インターンシップc		2・後期	90	3			○	○		○		

○			卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。 ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	120	4				○	○		○		
○			プロモーション研究・創作	1年間の学びの成果として、いまの時代に求められているプロモーション施策を企画、実践する。 また効果的な伝え方を意識しながらプレゼンテーションを実施する。	2・後期	60	2				○	○		○		
合計				20科目		1080単位時間(		36	単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分
	1 学期の授業期間

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			プロポーション美学A	自分の体形や第一印象を知ることから入り、自己分析を行う。そして、表現力を身に付けながら基本的なモデルウォーキングの動きを習得する。	2・前期	60	2		○	△	○			○	○
○			プロポーション美学B	前期の基本を踏まえ、ポージングや話し方のテクニックを磨き自己表現力を身につける。	2・後期	60	2		○	△	○			○	○
○			化粧科学	健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ法を学びます。	2・前期	30	1		○		○			○	
○			ヘア・メイク	ファッションモデルとして、様々なヘア・メーキャップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			コンディショニング	ヨガのアーサナ、呼吸法、瞑想を通し、自己の心と身体をありのままに気付き観察することで、内面からバランスを取り強くなやかな心と身体へ導く自己調節能力、集中力を養い、心身のセルフメンテナンスに役立てる。	2・通年	60	2		○		○			○	○
○			ダンス基礎・バレエ	モデルとして活躍するには、身体意識、身体感覚を得て、磨き続けて行くことが欠かせません。そのベースつくりのために解剖学、筋膜の連なりを取り入れながらのバレエメソッドを学びます。即興体験もします。	2・前期	30	1		○		○			○	



○			ダンス演技	現代はモデルのタレント化・タレントのモデル化が進んでおり、モデルに必要なスキルは多岐に渡る。様々なオーディションではナレーション・演技・歌唱・ダンスが求められることもある。またSNSでの発信などセルフプロデュースも重要である。本授業ではモデルが求められる多様なスキルに対応すべく、また学生が自分の得意分野を見つけるきっかけとなるよう様々なアプローチをしていく。感染症対策の状況によってはオンライン授業・動画での課題提出など柔軟に対応を検討する。	2・通年	60	2		○	○	○	○	
○			サーキットトレーニング	授業概要:ストレッチや自重トレーニングを活用し、モデルらしい体系づくりの知識を身につける。 到達目標:美しい姿勢。また、正しい動作とその目的を理解し、指示がなくとも自ら実践できるようになる。	2・通年	30	1			○	○	○	○
		○	自由選択 ファッションモデル演習a	ファッションモデルに特化した実習現場に参加し、モデルとしての経験を積む。	2・通年	30	1		○	○	○		

(別紙様式4)

(2/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択 ファッションモデル演習b	ファッションモデルに特化した実習現場に参加し、モデルとしての経験を積む。	2・通年	60	2		○		○		○		
○			アパレル演習A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 更に新入生歓迎ショー作品(カジュアルウエア)の制作(コースの特色を出した)。バザー作品製作。一般的な商品知識を理解する商品マップの制作。	2・前期	60	2		○		○		○		
○			アパレル演習B	フォーマルウエアの制作を通じて、フォーマルウエアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修識させる。 フォーマルウエアに合う布地を使用したアクセサリー制作。 卒業研究・創作での撮影衣装とする。	2・後期	90	2	○	△		○		○		



		自由選択 (語学) ファッション英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・ 通年	60	2				○	○								○
		自由選択 (語学) オールコム コミュニケーション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・ 通年	60	2				○	○								○
		自由選択 (語学) TOEIC	TOEICテストでの600～700点程度の取得。スコアに見合うだけの英語力を身につける。	2・ 通年	60	2				○	○								○
		自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら句型入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・ 通年	60	2				○	○								○
		自由選択 (語学) 日本語(留 学生)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	2・ 通年	60	2				○	○								○
		自由選択A ニット	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・ 前期	30	1				○	○								○
		自由選択A ソーイングa	・ニット(カットソー)のトップスを制作 ・スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 ・マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 ・発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・ 前期	30	1					○	○							○
		自由選択A ソーイングb	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・ 前期	30	1					○	○							○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングd	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A アートフラワー	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【紅茶染め・アメリカンフラワー・樹脂】	2・前期	30	1		○				○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidアリー、ビーズエンブroidアリー、スパングルエンブroidアリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目指す。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1		○				○		
		○	自由選択A きもの着付け	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方、着付けができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		

		○	自由選択A 帽子a	アクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。	2・前期	30	1		○	○	○			
		○	自由選択A 帽子b	①ファッションコーディネートに活用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1		○	○	○			
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○	○	○			

(別紙様式4)

(4/5)

### 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ファッションイラストレーション	・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。 ・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。	2・前期	30	1		○		○				
		○	自由選択A 染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 日本のサブカルチャー史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	2・前期	30	1	○			○		○		

			○	自由選択A 映画から見るファッション	授業概要:ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力人を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1	○		○		○		
			○	自由選択A パソコンスキルa	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1	○		○		○		
			○	自由選択A パソコンスキルb	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1	○		○		○		

(別紙様式4)

(4/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義Ⅱ	ファッション業界で求められるモデルになるために各業界のスペシャリストの講義し、内面的、外面的な要素を磨く。	2・通年	60	2	○			○			○	

○		校外研修Ⅱ	学外の研修や見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1				○		○	○		
○		イベント実習A	ファッションモデル、タレントについての現状を調査、またはファッションモデル事務所、タレント・芸能事務所の調査を行い、今後の自分の進路や目標設定に役立てる。	2・前期	30	1				○	○				○
○		卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。 ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	120	4				○	○				○
○		ファッションモデル研究・創作	・2年間の学習の集大成として、学生個々での研究創作とした作品制作(アパレル演習—フォーマルウエア・アクセサリー制作)及びプレゼンテーション・展示発表まで行う。	2・後期	30	1				○	○				○
合計			20科目	1050単位時間( 35 単位)											
卒業要件及び履修方法										授業期間等					
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること										1学年の学期区分			前期・後期		
										1学期の授業期間			15週		
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科メイクアップコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			メイクアップ概論A	メイクアップ概論Aでは、メイクアップ演習で制作する課題をファッションとヘアメイクをトータルに理解し、第三者に伝えるための表現方法を追求していく。トータルコーディネートに必要な美意識を高めていく。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
○			メイクアップ概論B	メイクアップ概論Bを踏まえ、メイクアップ演習で制作する課題をファッションとヘアメイクをトータルに理解し、第三者に伝えるための表現方法を追求していく。トータルコーディネートに必要な美意識を高めていく。	2・後期	30	1	○	△		○		○		
○			メイクアップ演習A	ファッションの専門知識とメイクアップの専門的な知識・技術を身につけ、トータルコーディネート力に必要な美意識を高めていくことを目標とする。	2・前期	90	3				○		○		
○			メイクアップ演習B	メイクアップ演習Aを踏まえ、メイクアップの専門的な知識・技術を身につけ、トータルコーディネート力に必要な美意識を高めていくことを目標とする。	2・後期	90	3				○		○		
○			化粧品科学A	健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ方法を学び、顧客に対して質の高いコミュニケーションを行うために分かりやすく説明できる能力を養うことを目標とする。	2・前期	30	1				○		○		
○			化粧品科学B		2・後期	30	1	○	△		○		○		
○			色彩美学	顔のプロポーションを主軸とした頭部から肩周辺までの美意識を様々な画材を使用して描く。メイクアップ授業で制作するシーン別のカルテを明確に表現することを目標とする。	2・前期	30	1				○		○		
○			エステティック	人間の表面の美しさだけでなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステティックを学んでいく。技術だけでなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び、自らの心も成長させる。	2・通年	30	1		△	○	○			○	○



○		ネイルデザイン	ネイルサロンがネイルデザイン・テクニックを享受し、自分らしいネイルの形を学習する。	2・通年	30	1		○		○			○	○
○		アパレル演習	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 コースに特化した作品製作。一般的な商品知識を理解する商品マップの制作。作品を活かした撮影(バストアップ)。 カジュアルウエア(衿のバリエーション)制作。 アクセサリー製作。	2・前期	60	2	○	△		○		○		

(別紙様式4)

(2/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科メイクアップコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			メイクアップコーディネーター	素材・色・アクセサリー・体型など、客観的視点からコーディネートの知識と技術を学び、コースの専門性を生かしたヘアメイクを加えてトータルコーディネート表現を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ファッション情報	①ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。 ②市場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける。	2・通年	30	1	○			○		○		
○			ビューティーフォト	生徒が各々、撮影を通じて、メイクアップの見せ方、提案力・表現力を高める。卒業制作の自主制作につながる様毎回の授業を通して基礎と応用を身につける。	2・通年	90	3			○		○		○	
○			セールスコミュニケーション	美容部員としての立ち居振る舞いから対応までの知識と実践力を身につける お客様視点での判断と行動ができる 会話力を身につける	2・前期	30	1			○		○		○	

		○	自由選択 メイクアップ実技演習a	ヘアやメイクアップに特化した実習現場に参加する。専門に学んでいるヘア技術やメイク技術を実践で提供し、様々な素材に対応できるように経験を積み技術を磨く。	2・通年	30	1		○		○							
		○	自由選択 メイクアップ実技演習b		2・通年	60	2		○		○							
		○	自由選択 メイクアップ実技演習c		2・通年	90	3		○		○							
○			デザイン文化史	複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術から現代のアート動向までを解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行い成功したのかを考察することで、ヘアメイクやモデルに必要なセルフプロデュースの方法論を探ることにつながる。	2・通年	60	2	○			○							
○			メディアワーク	1年次で得た、イラストレーター/フォトショップの基本操作知識をより実践的に使えるレベルへ引き上げる。他授業で撮影したメイク写真等を課題に取り入れながら、メイクのイメージ提案等に必要企画書やイメージマップの作成に活かせるスキルを身につける。	2・後期	60	1		○		○							

(別紙様式4)

(3/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科メイクアップコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	自由選択 (語学) ファッション英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・通年	60	2		○		○				○	
		○	自由選択 (語学) オーラルコミュニケーション	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとなるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・通年	60	2		○		○				○	



		○	自由選択A ソーイングc	綿・化学繊維を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1				○	○	○				
		○	自由選択A ソーイングd	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1				○	○	○				
		○	自由選択A アートフラワー	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【紅茶染め・アメリカンフラワー・樹脂】	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidアリー、ビーズエンブroidアリー、スパングルエンブroidアリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	自由選択A きもの着付け	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方、着付けができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1				○	○	○				
		○	自由選択A 帽子a	アクセサリの基礎として布帛による基本的な帽子を製作し知識と技術を取得する。	2・前期	30	1			○	○	○					
		○	自由選択A 帽子b	①ファッションコーディネート演習に活用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1			○	○	○					

		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリ の基本を学び、布地を使った一重のエコ バッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグ の2種類を製作。	2・ 前期	30	1		○		○							
--	--	---	--------------	----------------------------------------------------------------------------------	----------	----	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	--	--

(別紙様式4)

(5/5)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科メイクアップコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任			
		○	自由選択A ファッション イラスト レーションa	・人体の基本となる8頭身を描き、自由 なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取 り入れたイラストレーションの技術を学 ぶ。 ・A3サイズのオリジナルのファッション イラストレーションを描く。	2・ 前期	30	1		○		○		○				
		○	自由選択A 染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実 習を通して習得し、それをもとに他教科の制 作物に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイル についての理解を深めることを目標とする。	2・ 前期	30	1			○	○		○				
		○	自由選択A 日本のサブ カルチャー 史	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターな どのサブカルチャーコンテンツからストリート ファッションを含めた都市風俗までを見なが ら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の 歴史をたどると同時にその特異性を探る。ま たさまざまな具体例を通しサブカルチャー的 な思考法や想像力に触れ、同時代の社会 や文化を見つめなおす新たな視点を得るこ とを目指す。	2・ 前期	30	1	○			○		○				

			○	自由選択A 映画から見るファッション	授業概要:ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○		
			○	自由選択A パソコンスキルa	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1	○			○		○		
			○	自由選択A パソコンスキルb	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1	○			○		○		

(別紙様式4)

(5/5)

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通科メイクアップコース) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義Ⅱ	ファッションとヘアメイクをトータルにコーディネート提案・表現するために、後の時代を読み取り自己の可能性、方向性を見つけ幅広い表現者としての現場で活躍している方々から知識を学ぶ。	2・通年	60	2	○			○			○	

○		校外研修Ⅱ	学外の研修及び見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1				○		○	○		
○		イベント実習A	コースの特色を深める為(ビューティ業界・化粧品業界、事務所、メイクアップアーティスト)を、調査・研究しキャリアビジョンを高め、就職活動に活かす。企業3社、アーティスト3名をまとめ、プレゼンテーションまで行う。	2・前期	30	1				○	○			○	
○		卒業制作	2年間の学習の集大成として、卒業制作を行う。企画・プレゼンを行い、各分野に分かれて活動する。 ファッションショー制作、雑誌制作、展示制作、映像制作の分野で、個々の知識と技術を結集して発表する。	2・後期	120	4				○	○		○		
○		ファッションメイクアップ研究・創作	2年間の学習の集大成として、学生個々での研究創作とした作品制作及びプレゼンテーション・展示発表まで行う。	2・後期	30	1				○	○		○		
合計			21科目	1020単位時間( 34 単位)											
卒業要件及び履修方法										授業期間等					
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること										1学年の学期区分			前期・後期		
										1学期の授業期間			15週		
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															